

尚綱学院大学 インターンシップ シラバス

講義名	インターンシップ	
学期	通年	
学年	2年	
単位数	2	
必修選択	選択	
授業の到達目標	<p>企業や自治体などでの職業体験やプロジェクト実施を通じて、大学における学びと就職活動の関係を把握していく科目である。次の5点がねらいとなる。</p> <p>(1) 大学で学ぶ意義を見つめなおし、これからの学習の契機を得る。 (2) 自らのライフプランやキャリアプランを考える。 (3) 外部からの客観的評価を得ることで、自己啓発に役立てる。 (4) 働くことの意味や実態を把握すると共に業界の概要や職種について理解を深め、職業選択について考える。 (5) 報告書の作成と発表を通じて社会人に求められる情報集約能力とプレゼンテーションスキルを身につける。</p>	
授業のテーマ・概要	<p>全学科合同の授業で、国内研修は学校で受入了解を得た企業、官公庁、非営利団体などで5日間の就業体験をする。海外研修(2017年度オーストラリア)は語学研修も含めた約10日間の研修。国内外共に研修に必要な基本的な知識や心構え、マナーを学習する。国内は、学校指定の研修先から希望調査・面談をした上で配属を決定。前期に、個人またはグループで研修先を事前訪問し、調査報告書を提出。研修は授業に支障のない主に夏休みに実施。研修終了後、後期に報告書の作成、報告会で発表し、研修で得た事と自らの課題を確認する。海外研修者は学内 TOEIC を受験する。授業以外にも英会話・現地調査等の予習・復習が必須となる。</p>	
授業計画	No	授業計画
	1	インターンシップ履修ガイダンスと心構え(国内外) 事前:前年度のインターンシップ報告書を読み、研修希望先と目的や意義を考えておく。
	2	インターンシップ研修先の説明と申込み書類の作成(国内外) 事前:申込み提出書類作成の準備
	3	教員との面談:志望動機と姿勢の確認(国内外) 事前:志望動機など面談の準備
	4	社会の求めるマナーについて(国内外) / 時間外:学内 TOEIC テスト(海外) 事前:TOEIC テストの準備(海外) 事後:日常的なマナーの実践(国内外)
	5	インターンシップ研修先の事前調査・提出書類(国内) / 海外研修先事情の調査と英会話(海外) 事後:研修先について調べる。提出書類の作成(国内外) / 海外渡航に必要な手続きの準備(海外)
	6	インターンシップ研修先の決定と打ち合わせ(国内) / 海外研修内容の打ち合わせと英会話(海外) 事前:事後:研修先へ連絡・事前訪問の準備(国内) / 研修先でのプログラム企画書の作成(海外)
	7	研修先の事前調査書提出と報告(国内) / 海外研修内容の打ち合わせと英会話(海外) 事前:研修先への訪問と調査書の作成(国内) / 研修先での取組に沿った英会話の準備(海外)
	8	インターンシップ報告書の書き方と報告会の内容(国内外) / 海外研修直前の準備(海外) 事前:研修について最終確認をし、質問を考えてくる。(国内外)
	9	インターンシップに参加(国内外:夏期休暇中)
	10	インターンシップに参加(国内外:夏期休暇中)
	11	インターンシップに参加(国内外:夏期休暇中)
	12	インターンシップに参加(国内外:夏期休暇中)
	13	インターンシップに参加(国内外:夏期休暇中)
	14	インターンシップ報告書の原稿作成と報告会準備(国内外:後期集中) 事前:原稿作成と提出
15	インターンシップ報告会(国内外:後期集中) 事前:報告会の発表準備	
成績評価方法・基準	事前取り組みの姿勢(出席状況や事前学習・準備など)35%、受け入れ先企業の評価(国内) / 海外研修の取組み姿勢(国外)25%、報告書および口頭発表の内容と質疑応答 40%として評価する。	
教科書	特に指定しない。	
参考書等	海外研修:染矢正一、Fred Ferrasci、Paul Murry『必ず役立つ! ホームステイ英会話ナビー出発から帰国まで一』(CD付)南雲堂 定価:1600円+税 など、その他参考書は授業中に紹介する。	
備考	1回目に国内外の詳細説明をする。研修先配属がどこでも責任を持って取組む者のみ履修。海外研修者はパスポート取得料・旅費・諸経費は自己負担(大学奨学金制度あり)。海外希望者は、学内 TOEIC テスト受験が必須(受験料は大学負担)。研修は夏休み期間のため他の資格関連実習と重なる人は履修不可。1回目授業から研修手順の詳しい説明をするので、欠席しない。授業欠席者は、原則、研修先に行かせない。対外的に姿勢が問われるので責任を持って履修すること。	